

日本機械学会 2008 年度年次大会と 市民フォーラムのご案内

<http://www.jsme.or.jp/2008am/>

2008年7月22日
社団法人 日本機械学会

社団法人 日本機械学会は、8月3日(日)から7日(木)にかけて、横浜国立大学で「2008年度年次大会」を開催いたします。先端技術フォーラムなど多数の企画とともに約1300件の研究発表・討論を予定しており、3000人程度の参加者数が予想されます。また、今大会では「21世紀地球環境革命の機械工学：人・マイクロナノ・エネルギー・環境」を大会のテーマとしております。また、社会的に重要な問題について情報発信する市民フォーラム(参加無料)を特に力を入れて企画いたしました。一般の方々、小中高校生を対象とした企画を多数用意しております。下記に市民フォーラムの全体像を記載しましたので、奮ってご参加くださいますようご案内申し上げます。

1. 「機械の日」記念講演会および市民フォーラム「輝ける機械工学と未来の夢」= ASIMO の実演もあります。= <<要申し込み>> 7日(木) 10:00~12:05、14:00~17:00、会場は、横浜市開港記念会館です。機械学会は、“機械”の意義や役割を広く社会と共に考え、人間と機械のふさわしい関係を模索するため、8月7日を「機械の日」と制定して、講演会やイベントを開催します。このたび、記念講演と市民フォーラムを開催しますので、皆様、ぜひご参加ください。

【午前の部】記念講演「芸術のための科学技術」井手亜里氏(京都大学教授)、機械遺産認定表彰、作文コンテスト表彰

【午後の部】講演「自動車と環境・エネルギー」川鍋智彦氏(本田技術研究所 専務取締役)、「レーザー光で作って動かすマイクロマシン」丸尾昭二氏(横浜国立大学准教授)、「知能ロボットから昆虫ロボットへ」三浦宏文氏(工学院大学学長)、ロボット「ASIMO(アシモ)」の実演

2. 「機械週間」記念行事 展示会「懐かしく、美しい機械たち」

5日(火) 11:00~14:00、白洲次郎氏
ゆかりのベントレー、懐かしいカメラ、
タイプライター、計算機などを展示
します。ぜひご覧ください。



3. 「生き生き自立生活！～高齢社会に役立つ機械工学～」3日(日) 13:00~17:00、
機械工学が高齢社会の現在の現場や近い将来のために実際に役立っていることを、現場の要求なども具体的に示しながら説明します。講演者は、大川井宏明氏(岩手大学教授)、仙波浩幸氏(豊橋創造大学准教授)、縄井清志氏(つくば国際大学准教授)、山本圭治郎氏(神奈川工科大学教授)、藤本弘道氏(アクティブリンク株式会社社長)、河村吉章氏(株式会社ナムコ)です。



4. 「オリンピックを科学する」～流体力学からみたサッカー、バレーボール、野球と競泳～(噂の水着も検証も?!)<<要申し込み>> 3日(日) 14:00~16:30、会場は、横浜情報文化センター情文ホールです。スポーツに用いられる技術を、流体力学を通じて分かりやすく解説します。これまでとは別の見方によって、オリンピック観戦をより身近に感じることができると思います。皆さま、ぜひご参加くだ

さい。講演者は、浅井武氏（筑波大学准教授）、瀬尾和哉氏（山形大学准教授）、青木克巳氏（東海大学教授）、溝田武氏（福岡工業大学教授）、伊藤慎一郎氏（防衛大学校講師）、中島求氏（東京工業大学准教授）です。

5 「おもしろサイエンス(力学をベースにした模型の展示)」3日(日)12:00～16:30、4日(月)9:00～15:00、模型や展示機器によって、様々な力学現象の原理を直感的に理解してもらうことで、難しい印象を持たれがちな「機械工学」に親しんでもらいます。小中高校生のみなさんぜひ体験してください。



6 「中越沖地震」、「能登半島地震」に関連した企画 4日(月) 5日(火)
地震国・日本では、毎日の当たり前の生活の中で、地震に遭遇することがあります。地震によってどのような被害が身の回りに生じるのか、また特に原子力発電所では対策はどのようになっているのか、3つの企画を通じてそれぞれの専門家がご紹介します。

能登半島および中越沖地震の被害調査報告

地震対応を考えた機械設備や生活関連機器の設計製作に役立てるため、能登半島および中越沖地震による被害のうち、それらの機器の地震による被害について調査結果を報告します。地震が及ぼす産業への影響について知ることができる貴重な機会ですので、ぜひご参加ください。

ワークショップ：中越沖地震の柏崎刈羽原子力発電所への影響評価

先端技術フォーラム：中越沖地震の柏崎刈羽原子力発電所への影響評価と学会としての今後の取り組み

中越沖地震によって、柏崎刈羽原子力発電所の安全性に影響は無かったものの、設計値を超える加速度が観測され、補助的な設備の一部には損傷を生じました。同発電所についての最新の評価状況を説明すると共に、原子力発電所の構造物の規格作成活動を始めとする日本機械学会内の関連するさまざまな活動について、それぞれの専門家が紹介します。

7 「機械道の歩み方 太郎と花子のキャリア形成 」4日(月)10:00～12:00

私たち Ladies Association of JSME は、年次大会市民対象行事の一つとして、パネルディスカッションを企画いたしました。私たち女性が、機械工学を学んだ後、就職し働き続けていく過程には、いろいろなキャリア形成の道があります。今回は様々な年代のパネリストの方々が経験談を交えながら、キャリア形成について討論いたします。男女を問わず皆様のご参加をお待ちしています。パネリストは、山根一人氏（(株)本田技術研究所）、山田純氏（芝浦工業大学教授）、高原珠音氏（(株)東芝 デジタルメディアネットワーク社）、渡邊恵子氏（(株)日立製作所）、仲俣千由紀氏（(株)IHI）です。

8 「21世紀における機械工学ディシプリン」日本学術会議機械工学委員会機械工学ディシプリン分科会では、「21世紀における機械工学の役割・貢献」、「機械工学の学術コア」、「人材育成」について検討を進めておりますが、その内容を機械工学に係わっておられる技術者、研究者を主な対象として報告させていただき、議論を深めると共に今後の我々が進むべき道を探らうとするものです。

【午前の部】「21世紀における機械工学の役割・貢献」5日(火)9:45～12:00、講師は、笠木伸英氏（東京大学教授）、廣瀬茂男氏（東京工業大学教授）、生田幸士氏（名古屋大学教授）、北村隆行氏（京都大学）、谷下一夫氏（慶応義塾大学教授）、松本洋一郎氏（東京大学教授）、矢部彰氏（産総研）です。

【午後の部】「21世紀を担う機械技術者・研究者の育成～大学院教育の充実に向けて」5日(火)13:00～16:00、基調講演 井上卓己氏（文部科学省高等教育局大学振興課大学改革推進室）、宮内敏雄氏（東京工業大学教授）です。

【本件に関する問い合わせ先】

〒160-0016 東京都新宿区信濃町 35 番地 信濃町煉瓦館 5 階
社団法人 日本機械学会
会員・情報管理グループ 野口明生
電話：(03) 5360-3503、FAX：(03) 5360-3508
E-mail：noguchi@jsme.or.jp